

泌尿器講座

急性尿道炎

いいい腎泌尿器科クリニック院長
石井 達矢

●(いいいたつや)1999年(平成11年)山形大学医学部卒業。同大附属病院、市立病院済生館、公立亶臨総合病院勤務などを経て2020年5月いいい腎泌尿器科クリニックを開業。医学博士、日本泌尿器科学会認定専門医、日本医師会認定産業医。



セフトリアキソンというセフェム系抗生物質の点滴が推奨されています。

クラミジアに感染すると

クラミジアの場合、男性では半数以上が軽症または無症状です。分泌物も透明で粘度も低く「気づいたら下着が濡れていた」という訴えで受診されることもあります。

ただ女性では淋菌の場合と同じ機序で不妊の原因になることもあります。治療は経口抗菌薬アジスロマイシンの投与が推奨されています。

急性尿道炎は、男性の尿道に急性の炎症が起こり、排尿時の痛みや、尿道からの分泌物、排尿時の違和感などの症状が現れます。多くは性交渉によって細菌に感染することで発症します。

淋菌に感染すると

原因菌の代表は淋菌と

女性では子宮頸管炎から骨盤内炎症性疾患に進展し、不妊の原因になることがあります。治療は

淋菌とクラミジアに加

厄介な原因菌も登場

急性尿道炎は、治療確

パートナーと治療を

え、ここ数年、じわじわと増えてきているのがマイコプラズマ・ジェニタリウムです。他の細菌と違って細胞壁がなく、ペニシリン・セフェム系抗生物質が全く効かないのが厄介です。

このため治療に難渋することが多く、全国的に治療失敗例が問題になっています。当院でもキノロン系抗菌薬での治療の失敗を経験しています。現在推奨される治療は、まずドキシサイクリンで病原体量を減らし、その後シタフロキサシンを用いる2段階治療です。

認をしないと、耐性を持つ病原体が残ったり、再感染につながる可能性があります。必ず再診すること、同時にパートナーも治療を受けることが重要になってきます。



〈泌尿器科・内科〉

いいい腎泌尿器科クリニック

☎023-616-3601 山形市桜田西4-17-49

●診療時間
午前/9時00分～12時30分
午後/14時30分～18時00分

●休診日
木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日

